

News Release

Hyundai の電気バス「ELEC CITY TOWN」が、 CHAdeMO 協議会の「組み合わせ試験結果一覧」に掲載

- 急速充電器適合試験の「ホワイトリスト」に掲載されたことにより、電気バス「ELEC CITY TOWN」の充電時の安全性を実証
- 他にも各種安全装置や修理・交換サービス、充実したアフターサービスを用意



Hyundai Mobility Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役社長：趙源祥、以下 Hyundai）は、2024 年末に発売開始予定の新型中型電気路線バス「ELEC CITY TOWN（エレクトシティタウン）」が、電気自動車（EV）と CHAdeMO 急速充電器適合試験に合格し、「組み合わせ試験結果一覧（通称：ホワイトリスト）」に掲載されました。

「組み合わせ試験結果一覧（通称：ホワイトリスト）」は、CHAdeMO 協議会が従来の充電器認証制度に加え、主要充電器に対して問題なく充電ができるかなどの実車実機確認テストを行い、電気自動車と CHAdeMO 急速充電器適合試験の組み合わせ試験結果を記載した一覧です。

<https://www.chademo.com/ja/charger-information#maching>

新たに「ELEC CITY TOWN」が、「組み合わせ試験結果一覧（通称：ホワイトリスト）」掲載されたことにより、電気路線バスの導入を検討されている自治体や事業者が、充実したアフターサービスや修理・交換サービス、各種安全装置のほかにも、安全面で「ELEC CITY TOWN」を積極的に選択する理由が一つ増えたといえます。

Hyundai の新型中型電気路線バス「ELEC CITY TOWN」は、郊外路線やコミュニティバスなど一定数の需要はあるものの、現在の日本市場において、電気バスの国内外のメーカーラインナップは限られており、環境問題に対応できる車両の導入が、公共交通機関を運営する自治体や事業者などにとって急務であるといえます。こうした状況を踏まえ、Hyundai は日本の公共交通機関で求められている課題に対し、適切なサイズの電気バスを販売することで CO2 削減に貢献していきたいと考えています。

ELEC CITY TOWN（エレクトシティタウン）について

Hyundai は、近年は積極的に次世代自動車の開発を推進し、2022 年には次世代自動車（ZEV）で乗用車部門が日本市場へ再進出しました。商用車部門でも 2017 年に電気路線バスである「ELEC CITY（エレクトシティ）」を韓国で発売、アップデートを重ねながら電気バスのラインナップを拡充させています。そして 2024 年末に、「ELEC CITY」シリーズの中型バスに相当する「ELEC CITY TOWN」を日本で発売します。

「ELEC CITY TOWN」は、日本のバス車体規格ガイドラインに準拠し、日本市場のニーズに合わせた路線バスです。ワンマン路線バスに必要な装備の架装に対応。リチウムイオンバッテリーを搭載し 220km 以上の航続距離を確保^(※1)。新規車両登録後からフロントガラス、サイドミラー（片側）は 10 年間、タイヤパンクは 5 年間にわたり修理・交換サービスをご提供します^(※2)。また、乗客乗下車時の死角地帯の障害物を感知する「SEW-Near」機能、各種センサーで車両の挙動を測定し、モーターの出力・ブレーキを制御する事で悪天候や滑りやすい路面でも車両のコントロールを容易にする「VDC（車両安定装置）」など、日本の路線バス運行で求められている各種安全装置を標準装備しています。

そして昨今の 2024 年問題に対する取り組みとして、車両管理の省力化を実現する OBD2 コネクタを介したテレマティクスサービスの導入準備、バス事業者様の車両故障や修理対応による稼働時間減少（ダウンタイム）への対策として、現在販売中のヒョンデの大型観光バス「Universe（ユニバース）」の部品同様に、国内翌日納品率 95%以上を目指して初期部品在庫を準備しているなど、日本各地のバス事業者様に好評いただいている各種アフターサービスとノウハウを生かして参ります。

また「ELEC CITY TOWN」は、公益財団法人日本自動車輸送技術協会（Japan Automobile Transport Technology Association、以下：JATA）から、「補助対象車両」として補助金を交付さ

れ、「ELEC CITY TOWN」をバス事業者、自治体などが1台導入するごとに、JATAより17,692,000円がバス事業者、自治体などに補助金として交付されます^(※3)。

ELEC CITY TOWN とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください。

<https://hyundai-truckbus.co.jp/index.html>



ELEC CITY TOWN 主要諸元

項目	仕様
全長 (mm)	8,995
全幅 (mm)	2,490
全高 (mm)	3,400
ホイールベース (mm)	4,420
乗員定員	55 (18+36+1)
バッテリー容量 (kWh)	145
バッテリー種類	リチウムイオン
充電方式	CHAdeMO
航続距離 (km)	233 ^(※4) (330 ^{※5)}
最高速度 (km/h)	80
モーター定格出力 (kw)	160
駆動モーター	ZF 製 セントラルモーター

- ※1：航続距離は外気温や冷暖房装置使用、また乗車人数により変動します。
- ※2：本サービスの適用対象となった場合に、Hyundai と実行者が連帯して、修理（もしくは交換）サービスを提供します。ただし、ご利用は Hyundai 指定協力整備工場に限り、且つご利用期間内の上限回数などの条件がございます。なお、本サービスは、Hyundai と三井住友海上火災保険株式会社および株式会社プレミア・インシュアランスソリューションズの協力により実現しています。
- ※3：詳細は日本自動車輸送技術協会のウェブサイトへ <https://ataj.or.jp/>
- ※4：一充電走行可能距離：自社基準（定速 60km/h）による測定
- ※5：自社基準（定速 30km/h）による参考値
各仕様については発売時に変更となる可能性があります。

Hyundai (ヒョンデ) について

1967年に韓国で設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上で事業を展開し、12 万人以上の従業員を雇用しており、世界中のモビリティに関する現実的な課題に取り組んでいます。ブランドビジョンである「Progress for Humanity」に基づき、Hyundai Motor はスマートモビリティ・ソリューション・プロバイダーへの転換を加速しています。Hyundai は、革新的なモビリティソリューションを実現するために、ロボティクスや Advanced Air Mobility (AAM) などの先進技術に投資し、未来のモビリティサービスを導入するためのオープンイノベーションを追求しています。世界の持続可能な未来のために、Hyundai Motor は業界をリードする水素燃料電池と電気自動車技術を搭載したゼロエミッション車を導入するための努力を続けていきます。

Hyundai Motor Company とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください（英語）。

<https://www.hyundai.com/worldwide/en/>

【本件に関するお問い合わせ先】
Hyundai Mobility Japan
MAIL: press_japan@hyundaimobility.jp

Hyundai Mobility Japan PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：山口（080-7624-3656）、太田（080-3212-7524）
TEL：03-6894-3201 / MAIL： hyundai_pr@ssu.co.jp